

私はチャン・ミン・ハイといいます。ベトナムから来た留学生です。高校生のとき、ピースボートという日本の国際交流船をダナン市に迎えるボランティア活動をしました。それがきっかけで、いろいろなボランティア活動をするようになり、そこで出会った日本人に親しみを感じるようになりました。また、以前から天然資源の少ない日本が世界第三位の経済大国になったことを不思議に思っていました。それで、日本の本当の姿を自分の肌で感じ自分の目で見たいと思い、日本への留学を決意しました。日本に来てから、もう三年経ちました。

日本へ来たばかりのころは、「日本語が一言もわからない、どうしよう!」という状況でした。ベトナムと日本の文化や言葉はとてもし違いますが、生活にもなかなか慣れることができませんでした。日本での生活で一番困ったことは、物価が高いことです。学費や家賃は全部自己負担ですから、アルバイトをしなければ勉強も生活もできません。新聞配達をしながら日本語学校に通いました。

毎日アルバイトをしていたので勉強する時間があまりありませんでしたが、絶対に諦めず国立大学に入学しようと決めていました。



平成26年1月1日をもって関連規則が施行され、保健管理センターと学生相談室および職員相談室は統合されて「保健管理・総合相談センター」として生まれ変わりました。これまで、保健管理センターは心身の健康管理および健康指導を行い、学生相談室は学生の悩み全般、職員相談室は職員の悩み全般に関わるといったように、窓口がバラバラでした。しかし、これからは一つのセンターになったことで、窓口が一元化され、利用者の利便性向上が期待されています。これからは、心身の不調や悩みがあれば、まずセンターに行く“と考えていただければと思います。

What's happening?



留学生
滞在記

徳島での留学生活

工学部 電気電子工学科 2年
Tran Minh Hai [ベトナム]
(チャン・ミン・ハイ)



ベトナム人の先輩の卒業式(本人左)

いつも「がんばろう」と自分に言っていました。日本語の勉強と仕事を一緒にするのは無理だと思いつつ、途中であきらめようと考えたことや、「意味がわかりますか?」とよく日本人に聞かれて、ショックを受けたこともありましたが、「今までやってこられたんだ。これから生きていける!」という気持ちをもって、いろいろなことを乗り越えることができました。兄と友達はいつもわたしのことを応援してくれています。最後の最後まで目標をあきらめず、前を向いて歩いて行きたいと思っています。今までの人生で周りの人たちにたくさんのお恩を受けてきました。その恩のほとんどは私が本当にきつかったときのものであり、この感謝の気持ちは一生忘れなれないと思います。

徳島大学では日本人の友達がたくさんできました。これからは一生懸命勉強して、アルバイトやサークル活動も熱心に行きたいです。他の留学生との交流会などで、モンゴルや韓国、マレーシアなどから来た留学生と出会う、友だちになりました。勉強だけでなく、いろいろな経験をする事ができて、日本に留学したことを本当に良かったと感じています。

「保健管理・総合相談センター」 リニューアル

保健管理・総合相談センター総合相談部門 講師
赤坂 和哉 (あかさか かずや)



学生相談室と職員相談室は「保健管理・総合相談センター」に改組

先にも簡単に述べましたが、学生が困ったときに利用する「よろず相談」や人間関係等の悩みに対応してきた学生相談室、教職員の就労上の相談や個人的な悩みおよびハラスメントの問題に対応してきた職員相談室は、「保健管理・総合相談センター総合相談部門」となります。学生相談と職員相談が統合されるため、「あらゆる相談の窓口」としての意味を込めて「総合相談」という名称が付けられました。

蔵本地区の総合相談部門も週5日オープン

昨年の10月から、学生・職員相談室の蔵本分室の開室日は、週半日から週2日に変更となっていました。それに伴い利用者が増加していることもあり、この度の改組で、常三島地区と同様に、蔵本地区の総合相談部門も月曜日から金曜日までの週5日のオープンとなります。蔵本地区には、男性2名、女性1名の臨床心理士の資格をもつ常勤カウンセラーのうちの1名が常駐しています。事前に予約の上、ご利用下さい。

保健管理・総合相談センター総合相談部門

ご利用の際は、直接入室されるか、電話またはメールで、予約をお願いいたします。

TEL: 088-656-7637

E-mail: gkseisod@tokushima-u.ac.jp
(変更予定あり)

◆ 常三島キャンパス(共通教育5号館1階西側)

利用時間: 月~金 8:30~17:15

◆ 蔵本キャンパス(蔵本会館2階)

利用時間: 月~金 8:30~17:15

統合・改組が目指すもの

今回の統合・改組が目指しているのは、今よりもよりよい相談体制の確立です。統合に際して、常勤カウンセラー1名と非常勤精神科医1名が増員されましたが、この増員を基盤に、①窓口および情報の一元化により複雑化する相談や問題に迅速に対応する、②多分野の専門家を集結し、各専門性を生かしてより質の高い支援体制を確立する、③少子化を反映した「子供を安心して預けられる大学」という社会的なニーズに対応する、④大学改革に伴い教職員の負担が増加し、そこに起因するストレス反応に対応する、といった相談体制の充実化が目指されています。



サマースクールでの勉強会(本人右から2人目)



京都観光にて(本人左)